

2015年(平成27年)度 第6回常務理事会議事録

日時：2015年(平成27年)12月5日(土) 10:30～13:30

場所：八重洲ダイビル 第1会議室

出席者：藤本豊士(理事長)、岡部繁男、寺田純雄、仲嶋一範、渡辺雅彦(以上常務理事)、
阪上洋行、松崎利行(以上常任幹事)、片桐 淳、中村 聡(以上、口腔保健協会)

I. 会議記録の確認

2015年(平成27年)度第5回常務理事会(平成27年9月19日開催)議事録(案)を確認し、これを了承した。

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の報告があった。

平成27年9月分

入会者：正会員9名、学生7名

退会者：正会員4名

平成27年10月分

入会者：正会員5名、学生3名

退会者：なし

逝去会員1名：

西澤 洋平氏(軽井沢薬用植物研究所 正会員)(享年41)

新規就任教授 2名(平成27年9月17日～12月2日 事務局の受付分)

八木 秀司(兵庫医科大学解剖学細胞生物学分野・教授 平成27年4月1日就任)

小田 賢幸(山梨大学大学院総合研究部解剖学講座分子組織学教室・教授
平成28年1月1日就任予定)

(2) 学会宛文書について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

①通知・依頼：日本医学会より「薬事戦略相談に関する実施要項の一部改正(周知依頼)」他45件

②書籍・定期通信 他：国際医学情報センターより「あいみつく 36(3)2015」他13件

(3) 会員名簿2016について

資料に基づき、会員名簿作成状況が説明され、12月15日に納本予定であること、印刷予定部数750冊であること、解剖学雑誌91巻1・2月合併号において購入案内を再度行う予定であることが報告された。

(4) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌掲載稿における著作権について

資料に基づき、これまで解剖学雑誌に掲載された巻頭言、寄稿、追悼文・広告の著作権の学会への委譲に関するお願いの会告(解剖学雑誌90巻4号掲載)に対して、平成27年11月30日の締め切りまでに異議申し立てがなかったことより、解剖学雑誌に掲載されたすべての著作物の学会への委譲が完了したことが報告された。また、今後、学術著作権協会と著作物複写利用に関わる権利委託に関する交渉を行う予定であることが報告された。

(2) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2015(平成27)年度奨励賞について

資料に基づき、2015(平成27)年度奨励賞に6名の申請者があり、賞・研究費候補者選考委員会(12月19日開催予定)において審議予定であることが報告された。

(2) 一級および二級技能士審査結果について

資料に基づき、一級および二級技能士資格試験受験者各2名を合格と判定する解剖組織技能士資

格審査委員の審査結果が報告された。

- (3) 第121回総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、準備状況（12月1日現在）として、①演題数、②日程概要、③予算について報告された。
- (4) 第122回総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、準備状況として、①開催期日場所（2017年3月28日～30日、長崎大学坂本キャンパス）、②運営組織、③大会方針とテーマ(案)について報告された。
- (5) 日本医学会・日本医学会連合報告
資料に基づき、平成27年6月24日に開催された第2回理事会、定時総会、第3回理事会の議事内容が説明され、新役員の選任経過と結果について報告された。次回定例委員会（平成28年2月17日開催予定）には、仲嶋理事が出席することとした。また、日本医学会分科会用語委員会（平成27年12月2日開催、山梨大・竹田扇教授出席）において、「奇形」や差別語（例えば「鳥様顔貌」など）は各学会で変更するならば、医学会として原則追認する方針であることが報告され、解剖学用語委員会での検討を依頼することとした。
- (6) 生物科学学会連合報告
資料に基づき、第11回及び第12回定例会議の議事内容が報告された。主な議事内容として、第11回定例会議での運営委員の選出に関する運営規定の改定、第12回定例会議での①ポストク問題検討委員会によるポストクの雇用促進と研究者育成に関する「生科連からの＜重要なお願ひ＞」の冊子の第2版が4月に出版されたこと、②文部科学省が導入を検討している「卓越研究員制度」に関して、生科連として新たな予算措置に対しては歓迎するが、ポストク問題の根本的な解決策となりうるのかなどの問題点もあり、今後の推移を注視するとともに生科連として文科省に意見を伝える予定であること、③「国立自然史博物館」の設立に向けて、生科連として支援することなどが報告された。
- (7) その他
特になし。

4. 会計報告

- (1) 支部学術集会収支報告書
資料に基づき、第25回日本解剖学会関東支部懇話会の収支報告につき説明があった。
- (2) 2015(平成27)年度中間決算書
資料に基づき、平成27年度10月次中間決算書(平成27年1月1日～10月30日)の内容が説明され、項目間の多少の執行率の差異はあるが、ほぼ例年通りの収支内容であることが報告された。
- (3) ホームページバナー広告募集について
資料に基づき、賛助会員と第120回全国学術集会広告賛助企業に対して、日本解剖学会ホームページバナー広告の募集案内を行った結果、日立ハイテクノロジーズと南江堂の2社から掲載希望の回答があり、広告の掲載を開始したことが報告された。今後、さらに掲載企業を増やすための方策について議論された。
- (4) その他
特になし。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について
資料に基づき審議した結果、27名の新規入会が承認された。
2. 教授就任による代議員審査について
資料に基づき、教授就任による代議員の申請者2名について審議した結果、承認された。
3. 全国学術集会におけるワークショップ、シンポジウムへの開催補助について、ならびに申し合わせの一部改正について
資料に基づき、委員会主催のワークショップ、シンポジウムへの開催助成に関して、一部内容の再検討を求めた上で3件を助成することを決定した。また、今後の全国学術集会における委員会主催のワ

ークショップ、シンポジウムへの開催助成に関して、常務理事会が助成の可否について協議し、その結果を当該学術集会の大会長とプログラム委員会に通知することとした申し合わせの改正案について審議し、理事会に諮ることとした。

4. 申請による代議員について

申請による代議員の選出基準について、①解剖学教育・研究に関わる通算10年以上の正会員で、医・歯学部解剖学専任教員である場合は准教授以上、②①以外の学部・学科等の場合は教授、③いずれにも該当しない場合は、理事会での意見や本学会でのこれまでの貢献を総合的に判断し、理事会の決議に委ねることとしたこれまでの申し合わせが確認された。この申し合わせに基づき、今回申請のあった3名を理事会の決議に諮ることとした。

5. 2015(平成27)年度解剖組織技能士功労賞について

資料に基づき、2015(平成27)年度解剖組織技能士功労賞申請者3名について審議の結果、承認され、理事会に諮ることとした。

6. 2019(平成31)年度総会・全国学術集会開催校について

資料に基づき、2019(平成31)年度総会・全国学術集会開催校の希望届出があった日本歯科大学(会頭予定者：影山幾男先生)について審議の結果、承認され、理事会に諮ることとした。

7. 技能士の名称抵触問題について

資料に基づき、常務理事会から提案された「マイスター」の名称変更案に関して、解剖組織技能士審査委員会において審議した結果、承認されたことが報告され、今後、理事会の審議を経て、平成28年度定時社員総会における承認後、変更する予定で進めることとした。

8. 2016(平成28)年度以降の技能士試験実施方法について

資料に基づき、平成28年度以降の一級技能士試験実施体制について審議され、①試験を東京都内で一括開催すること、②ビデオによる事前審査を導入すること、③審査シートの導入により口頭試問での審査内容を標準化することが審議の結果、了承された。今後、必須実施項目などの詳細について、解剖組織技能士審査委員会に検討を依頼することとした。また、衛生検査技師もしくは臨床検査技師の資格を有する者に現在認めている一級技能士「飛び級」受験制度に関して審議した結果、今後、解剖学の研究・教育に用いられている組織標本の作成業務に3年以上従事している経験を条件として付加することです了承された。

9. 2016(平成28)年度事業計画案について

資料に基づき、2016(平成28)年度事業計画案が説明され、了承された。

10. 2016(平成28)年度仮予算書案、ならびに事務委託契約について

資料に基づき、2016(平成28)年度仮予算書案について説明され了承された。また、一般財団法人口腔保健協会との事務委託に関する再契約内容が説明され、審議の結果、承認され、理事会に諮ることとした。

11. 今後の海外交流について

資料に基づき、2015年9月15日付で理事長及び事務局に送付された国際解剖学連合(IFAA)のB. Kramer理事長からの正規会員への復帰の依頼文とこれまでの経緯が説明された。審議の結果、現時点でIFAAに復帰しないことです了承され、理事会の意見を聞くこととした。

12. コメディカル教育における解剖実習について

昨年12月に出された死体解剖資格審査分科会から公表された「死体解剖資格審査の留意事項」が説明された。また、医学部・歯学部以外の学部における解剖学教育のあり方等について、理事会で情報を共有し、議論することとした。

13. 今後の学会運営方針について

資料に基づき、解剖学講座枠の減少に伴う一般会員数と代議員数の漸減を示す本学会の会員種別の年次推移データが示され、今後の本学会の運営方針について意見が交わされた。

14. 次回常務理事会・理事会日程の確認

常務理事会
(第1回)

日時 2016(平成28)年1月30日(土) 11:00~14:00

会場 東京医科歯科大学

(第2回)

日時 2016(平成28)年3月27日(日) 13:00~14:30

会場 ビックパレットふくしま・小会議室1

理事会

日時 2016(平成28)年3月27日(日) 14:30~15:00(支部長会)、15:00~16:50(理事会)

会場 ビックパレットふくしま・小会議室1

15. その他

次回以降の会員名簿発刊について

次回の会員名簿の発刊に関して、①教育機関別の名簿掲載形式は継続すること、②教育機関別名簿掲載情報を会員各自が確認できる方向で検討することを申し送ることとした。